

令和 元 年度

事 業 報 告



日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

はじめに

平素から県民の皆様には赤十字事業の推進につきまして、温かいご支援、ご協力をいただき、心から御礼申し上げます。

新しい時代の幕開けとなった「令和元年」は、新しい名誉総裁をお迎えする記念すべき年であった一方、8月の九州北部豪雨をはじめ、広範囲に甚大な被害をもたらす自然災害が多発し、また、今年に入り、新型コロナウイルス感染症という新たな脅威と向き合わざるを得ない厳しい状況となりました。

そうした中、広島県支部では、「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命達成のため、災害救護活動や県民の安全と健康を守る救急法等の講習普及事業、青少年赤十字事業等、幅広い事業を行ってまいりました。

まず、災害救護活動においては、救護員を県内外の防災訓練や研修に派遣したほか、災害救援車両やテント・炊出し釜を整備する等、災害救護体制の充実・強化を行いました。

講習普及事業では、救命・応急手当を学ぶ救急法、水の事故防止や溺れた人の救助を学ぶ水上安全法等を実施し、約3万2千人が受講しました。

国際活動では、救急法等普及事業や保健医療支援事業等を支援するため、東ティモール民主共和国、フィリピン共和国、カンボジア王国に職員を派遣しました。

青少年赤十字事業では、大韓赤十字社忠南支社と中・高校生を対象に国際交流を実施したほか、青少年赤十字広島県リーダーシップ・トレーニング・センターを開催しました。

これらの事業が実施できましたのは、県民並びに赤十字会員、県内に組織された35の赤十字奉仕団をはじめとする多くのボランティア等の皆様方による力強いご支援の賜物であると心から感謝申し上げます。

つきましては、引き続き皆様方の大きなお力添えを必要としておりますので、今後とも赤十字事業に対し、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社広島県支部

支部長 湯 崎 英 彦

も く じ

I 広島県支部の運営

1 組織図	1
2 役員	2
3 評議員会	3

II 事業の実施状況

1 災害救護活動	4
2 講習普及事業	13
3 赤十字ボランティア	23
4 青少年赤十字	27
5 国際活動	32
6 赤十字思想の普及	35
7 会員と活動資金	38
8 看護師等養成事業	40
9 血液事業	41
10 医療事業	42

III 決算状況

1 一般会計	44
2 医療施設特別会計	45

IV 県内の赤十字

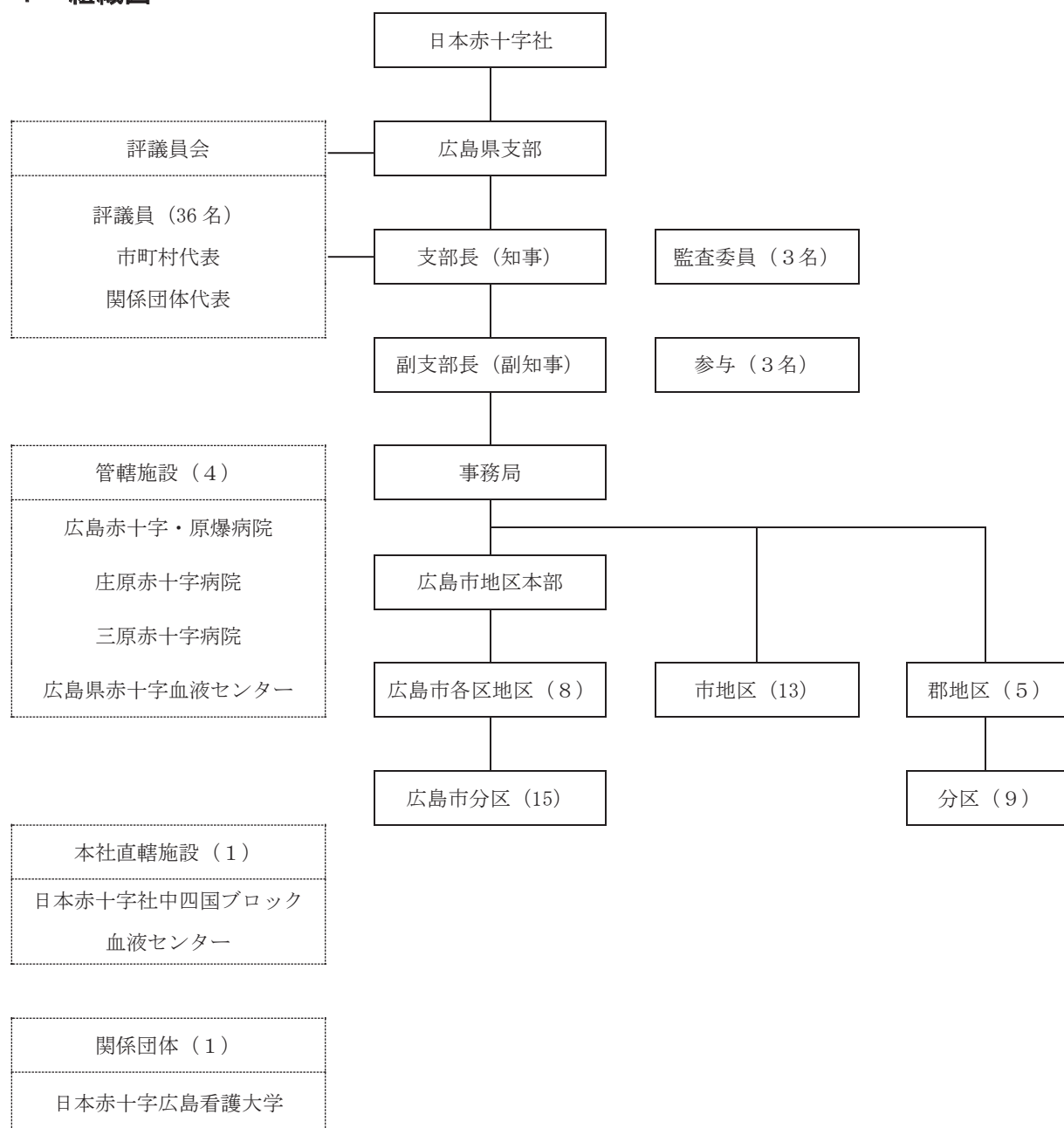
1 赤十字施設一覧	48
2 地区・分区一覧	49

I 広島県支部の運営

支部の運営は、各地区から選出された36名の評議員から構成される評議員会において、役員の選出、事業計画や予算、決算等の重要事項を審議・決定し、県内の各市区町に設置した地区本部・各地区・分区の協力を得ながら進めています。

また、平素の事業については、事務局において総務課・組織振興課・事業推進課の3課による調整、協力のもと各赤十字施設、地区・分区、赤十字奉仕団等と連携して実施しています。

1 組織図



2 役員 (令和2年3月31日現在)

- (1) 支部長 湯崎英彦 (広島県知事)
 (2) 副支部長 田邊昌彦 (広島県副知事)
 (3) 監査委員 佐々木清蔵・山本一隆・井林孝二
 (4) 評議員

■評議員一覧

選出地区		氏名	選出地区	氏名
広島市	地区本部	小池 信之	府中市	村上 明雄
		古川 智之	三次市	堂本 昌二
		月村 佳子	庄原市	大原 直樹
	中区	隅田 一成	大竹市	太田 勲男
	東区	篠原 富子	東広島市	多田 稔
	南区	漆原 正浩	廿日市市	堀野 和則
	西区	福岡 美鈴	安芸高田市	竹本 峰昭
	安佐南区	杉山 明	江田島市	土手 三生
	安佐北区	國重 俊彦	安芸郡	吉田 隆行
	安芸区	山本 秀樹	山県郡	箕野 博司
佐伯区	建部 賢次	豊田郡	高田 幸典	
呉市	小松 良三	世羅郡	奥田 正和	
	佐藤 光子	神石郡	入江 嘉則	
竹原市	田所 一三	支部長選出	中本 隆志	
三原市	山口 秀充		平松 恵一	
尾道市	澤田 昌文		宗兼 邦生	
福山市	杉野 昌平		本永 史郎	
	赤松 治美		佐々木 桂子	

3 評議員会

(1) 第1回評議員会

6月5日、次の議案を審議し承認されました。

議案	平成30年度一般会計歳入歳出決算並びに特別会計歳入歳出決算について
報告	平成30年度広島県赤十字血液センター事業報告について

(2) 第2回評議員会

2月5日、次の議案を審議し承認されました。

第1号議案	令和2年度事業計画について
第2号議案	令和2年度一般会計歳入歳出予算並びに特別会計歳入歳出予算について
第3号議案	令和2年度広島県赤十字血液センター事業計画について



第1回評議員会

Ⅱ 事業の実施状況

1 災害救護活動

日本赤十字社は、日本赤十字社法及び災害対策基本法や災害救助法に定める災害救護団体として災害救護活動を実施しています。

(1) 災害救護活動

2月27日夜に尾道市因島土生町で発生した火災により、被害を受けた住民の生活支援のため、28日に支部職員2名が救援物資（毛布150枚、緊急セット48組、安眠セット150組、大人用寝衣96着、子供用寝衣60着、タオル3点セット150組）を尾道市因島総合支所に搬送しました。



救援物資を積み込む職員



現地にて救援物資を搬入する職員

(2) 救護訓練・研修会

ア 救護訓練

迅速・的確な災害救護活動を実施できるよう、日赤第5ブロック合同災害救護訓練や広島県内で行われた総合防災訓練等に参加し、大規模災害の発生に備え、関係機関との連携強化、対処能力の向上を図りました。

■救護訓練参加状況

名称	日程	場所	参加者(人)
S T U号事故対応訓練	6月19日	広島市	4
令和元年度広島市総合防災訓練	8月30日	広島市	22
令和元年度広島県総合防災訓練	10月6日	三原市	11
令和元年度呉市総合防災訓練	10月8日	呉市	12
第5ブロック合同災害救護訓練	11月9日～10日	鳥取県	11



広島市総合防災訓練



第5ブロック合同災害救護訓練

イ 救護研修会

救護員やボランティア等のスキルアップを図るため、各種研修会の実施や他団体主催の研修会に参加しました。

■救護研修会実施状況

名称	日程	場所	参加者(人)
救護員研修(基礎研修)	4月20日	岡山県	1
救護班主事等研修会	5月20日	広島市	14
救護班要員基礎研修会	7月2日	三原市	18
第1回全国赤十字救護班研修会	7月14日～16日	東京都	3
救護員実践研修会	7月23日～24日	広島市	30
都道府県災害医療コーディネーター研修	9月28日～29日	東京都	1
こころのケア指導者養成研修会	11月15日～17日	東京都	19
原子力災害対応基礎研修会	11月28日～29日	愛媛県	5



救護員研修(基礎研修)



救護員実践研修会

(3) 救護班等の編成

災害が発生し、医療救護の必要が生じた際に直ちに活動ができるよう、県内3カ所の赤十字病院に救護班10班を常備しています。救護班は、1班あたり医師(1人)・看護師長(1人)・看護師(2人)・薬剤師(1人)・主事(2人)を基準として編成しており、災害の規模に応じて要員を増減し被災地へ派遣しています。これに加え、災害対策本部要員(36人)、血液供給要員(3人)を登録し、非常時の様々な状況に対応できる体制としています。

救護員に対しては、救護員研修会実施要綱に基づき、系統立てた研修会を開催しており、継続的に知識・技術の研鑽を図っています。

また、この救護班のほか、急性期の災害に即応すべく災害派遣医療チーム(DMAT)隊員が県内各赤十字病院に在籍しており、県内外で発生する災害派遣に備えています。

■救護班等編成状況

施設名	救護班数	医師(人)	看護師長(人)	看護師(人)	薬剤師(人)	主事(人)	合計(人)
広島赤十字・原爆病院	6	6	6	12	6	12	42
庄原赤十字病院	2	2	2	4	2	4	14
三原赤十字病院	2	2	2	4	2	4	14
合計	10	10	10	20	10	20	70



広島市内赤十字施設の救護員

■災害対策本部要員、血液供給要員登録状況

施設名	災害対策本部要員 (人)	血液供給要員 (人)	合計 (人)
広島県支部	17	—	17
広島赤十字・原爆病院	9	—	9
庄原赤十字病院	3	—	3
三原赤十字病院	4	—	4
広島県赤十字血液センター	3	3	6
合計	36	3	39

■災害派遣医療チーム（DMAT）隊員登録状況

施設名	チーム数	医師 (人)	看護師 (人)	業務調整員 (人)	合計 (人)
広島赤十字・原爆病院	3	3	5	4	12
庄原赤十字病院	1	1	3	2	6
三原赤十字病院	1	2	3	4	9
合計	5	6	11	10	27

(4) 救援物資

災害に備え、毛布や緊急セット等の救援物資を備蓄しており、要請に応じて被災者へ配布しました。

■救援物資備蓄状況

備蓄場所	毛布 (枚)	緊急セット (セット)	バスタオル (枚)	安眠セット (セット)	タオルケット (枚)	寝衣(着)	
						大人	子供
広島県支部	4,507	3,173	811	845	490	94	344
庄原赤十字病院	550	300	—	—	—	—	—
三原赤十字病院	900	246	—	—	—	—	—
日本赤十字 広島看護大学	1,000	—	—	—	—	—	—
地区・分区	410	158	400	—	—	221	135
合計	7,367	3,877	1,211	845	490	315	479



災害救助物資保管倉庫（庄原赤十字病院）



災害救助物資保管倉庫（三原赤十字病院）

■ 救援物資配布状況

世帯数	人数 (人)	毛布 (枚)	緊急セット (セット)	バスタオル (枚)	安眠セット (セット)	タオルケット (枚)	寝衣 (着)	
							大人	子供
56	156	173	72	142	6	0	156	7



緊急セット



(左上) 寝衣

(右上) タオルケット

(下) バスタオル



安眠セット

(5) 救護資器材・車両の整備

日本赤十字社では、災害時において電気・水道等のライフラインが停止した場合に備え、必要とする電気・燃料・食糧等の物資はすべて自分たちで用意する自己完結型の救護活動を原則としており、各種の資器材を平時から備えています。

また、災害時に迅速かつ多様な活動ができるよう災害救援車両を各種整備しています。

■主要救護用資器材等保有状況

名称		数量	名称	数量	名称	数量
業務用無線 (150MHz)	基地局	4局	フレームテント	3張	担架	70台
	移動局	48局	パイプテント	10張	発電機	8台
業務用無線 (400MHz)	基地局	1局	ワンタッチテント	6張	投光機(ハルソ・LED)	4台
	移動局	27局	エアーテント	4張	簡易トイレ	6個
アマチュア無線局		1局	ドラッシュテント	3張	医療セット	4セット
衛星携帯電話		7台	リフトテント	1張	折畳寝台	90台
折りたたみ式リヤカー		1台	炊出し釜	3個		



リフトテント



災害救援車(三原赤十字病院)

■災害救援車両

名称	数量(台)
通信指令車	1
d E R U (国内型緊急対応ユニット)	1
救急車	4
災害救援車(赤十字施設)	9

※ 主要救護資器材、災害救援車両の数量について、令和元年度から県内各施設が保有する資器材の総数としています。

(6) 地区・分区における災害救援車両や資器材の整備

地区・分区内での災害救護活動に使用するため、廿日市市地区、世羅町分区の災害救援車両を更新しました。また、尾道市地区、三次市地区、海田町分区に炊出し釜を整備しました。

■災害救援車両及び資器材整備状況

地区・分区名		車両 (台)	テント (張)	炊出し釜 (個)	地区・分区名	車両 (台)	テント (張)	炊出し釜 (個)
広島市	中区	1	—	1	大竹市	1	2	3
	東区	1	1	1	東広島市	3	11	2
	南区	1	1	—	廿日市市	2	13	2
	西区	1	1	1	安芸高田市	1	19	2
	安佐南区	—	—	1	江田島市	1	6	1
	安佐北区	1	3	1	海田町	1	5	3
	安芸区	1	2	2	府中町	—	3	3
	佐伯区	1	3	3	熊野町	—	4	1
呉市	1	13	1	坂町	—	3	1	
竹原市	1	2	1	安芸太田町	—	6	2	
三原市	1	13	1	北広島町	2	7	1	
尾道市	1	10	6	大崎上島町	1	7	1	
福山市	1	9	4	世羅町	1	6	2	
府中市	1	2	1	神石高原町	—	6	—	
三次市	1	20	4	合計	28	189	53	
庄原市	1	11	1					



車両の引き渡し式 (贈 協和鉱業株式会社)



地区・分区に整備された車両、炊出し釜と支部に寄贈されたLED投光機 (贈 協和鉱業株式会社)

(7) 防災教育事業の実施

日本赤十字社防災教育事業として、赤十字防災セミナーは地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることを目的として実施しています。

■赤十字防災セミナー実施状況

カリキュラム	内容	回数 (回)	受講者 (人)
災害への備え（講義）	災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から平時の備えの重要性を理解する。	9	762
災害エスノグラフィ	大規模災害の被災者の経験談を通じて、災害を迫体験することで被災の具体的なイメージを理解する。	4	110
災害図上訓練（DIG）	地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。	1	172
応急手当等	身近なものをを用いた応急手当をはじめ、一次救命処置等を学ぶ。	3	404



災害への備え（講義）



災害図上訓練（DIG）



身近なものをを用いた応急手当



一次救命処置（心肺蘇生とAED）

(8) 国内義援金の受付

国内各地で発生した災害に対し、義援金を受け付けました。集められた義援金は全額、各被災都道府県に設置された義援金配分委員会に送金され、同委員会で定める配分基準に従って被災者に届けられます。

■義援金受付状況（令和元年度広島県支部受付分）

名称	受付期間	件数(件)	金額(円)
東日本大震災義援金	4月1日～3月31日	150件	696,771円
平成28年熊本地震災害義援金	4月1日～3月31日	79件	284,118円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	4月1日～3月31日	64件	162,181円
平成30年7月豪雨災害義援金(本社取扱)	4月1日～3月31日	6件	15,259円
平成30年7月豪雨災害義援金(広島)	4月1日～3月31日	1,247件	125,066,190円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	4月1日～3月31日	86件	211,639円
令和元年8月豪雨災害義援金	9月2日～3月31日	111件	1,913,756円
京都府京都市伏見区で発生した放火事件に係る被害者義援金	9月9日～10月31日	5件	220,985円
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	9月18日～3月31日	134件	2,093,498円
令和元年台風第15号東京都義援金	9月30日～2月29日	53件	387,331円
令和元年台風第19号災害義援金	10月16日～3月31日	857件	31,900,680円

2 講習普及事業

地域住民の健康と安全を守る救急法等の講習を一般の方に広く普及するため、町内会をはじめ企業や学校等に対して実施しました。

また、講習普及活動の充実を図ることを目的として、救急法等指導員を対象に研修を行いました。

水上安全法では、本社主催の講師養成講習に1名が合格し、広島県で初となる指導員の養成を行う水上安全法講師として認定されました。

(1) 救急法

ア 一般普及講習・短期講習

病気、けがや災害から自分自身を守るとともに、けが人や急病人を正しく救助して医師又は救急隊員等に引き継ぐまでの救命手当（心肺蘇生、AEDによる除細動、異物除去等）や応急手当（止血の仕方、三角巾の使い方、骨折の固定方法等）の知識や技術を普及することを目的とした講習を支部、地域や職場、学校等で実施しました。

■講習実施状況（救急法）

名称	回数	受講者（人）	修了者（人）	認定者（人）
基礎講習	104	2,702	2,694	—
救急員養成講習	32	937	—	916
短期講習	381	16,109	—	—
合計	517	19,748	2,694	916



心肺蘇生の実技



骨折（下腿）の手当の実技

■地域別講習実施状況（救急法）

市区町名		基礎講習		救急員養成講習		短期講習	
		回数	受講者（人）	回数	受講者（人）	回数	受講者（人）
広島市	中区	29	780	12	301	55	2,154
	東区	11	156	3	71	15	429
	南区	5	87	—	—	42	1,924
	西区	2	44	—	—	27	1,029
	安佐南区	3	48	3	40	37	1,462
	安佐北区	1	112	—	—	21	885
	安芸区	—	—	—	—	7	157
	佐伯区	—	—	—	—	20	855
小計		51	1,227	18	412	224	8,895
呉市		5	195	—	—	13	592
竹原市		—	—	—	—	4	54
三原市		5	70	2	51	26	1,421
尾道市		12	139	1	29	2	37
福山市		7	120	3	65	26	1,426
府中市		—	—	—	—	5	299
三次市		1	11	—	—	11	419
庄原市		1	4	1	23	5	199
大竹市		—	—	—	—	2	413
東広島市		9	493	—	—	13	463
廿日市市		3	186	1	167	14	362
安芸高田市		—	—	—	—	4	106
江田島市		1	7	—	—	3	37
府中町		—	—	—	—	4	216
海田町		2	32	2	32	3	602
熊野町		—	—	—	—	6	243
坂町		3	156	2	139	10	237
安芸太田町		—	—	—	—	2	31
北広島町		—	—	—	—	—	—
大崎上島町		1	5	1	2	1	11
世羅町		—	—	—	—	—	—
神石高原町		—	—	—	—	2	27
県外		3	57	1	17	1	19
合計		104	2,702	32	937	381	16,109

イ 指導員研修会等

救急法指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会を実施しました。

■指導員研修会実施状況（救急法）

場所	日程	受講者（人）
広島県支部	2月22日	57
広島県支部	3月12日	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止
庄原赤十字病院	3月7日	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止
三原赤十字病院	2月15日	34
合計		91

■指導員登録状況（救急法）

ボランティア指導員（人）	職員指導員（人）	合計（人）
156	66	222

(2) 水上安全法

ア 一般普及講習・短期講習

水の事故から生命を守り、泳ぎの基本と自己保全、溺者の救助、救命・応急手当等、水難救助に関する総合的な知識と技術を普及することを目的とした講習を支部、地域や職場、学校等で実施しました。

■講習実施状況（水上安全法）

名称	回数	受講者（人）	認定者（人）
救助員養成講習Ⅰ	5	33	28
救助員養成講習Ⅱ	1	13	12
短期講習	81	5,136	—
合計	87	5,182	40



レスキューボードを使った救助



レスキューチューブを使った救助



救助用器材を用いない救助



海辺での講習

■地域別講習実施状況（水上安全法）

市区町名		救助員Ⅰ養成講習		救助員Ⅱ養成講習		短期講習	
		回数	受講者（人）	回数	受講者（人）	回数	受講者（人）
広島市	中区	—	—	—	—	17	1,367
	東区	1	5	—	—	2	50
	南区	—	—	—	—	6	234
	西区	—	—	—	—	3	93
	安佐南区	—	—	—	—	5	287
	安佐北区	—	—	—	—	3	101
	安芸区	—	—	—	—	10	1,115
	佐伯区	—	—	—	—	6	267
小計		1	5	—	—	52	3,514
呉市		—	—	—	—	7	429
竹原市		—	—	—	—	—	—
三原市		—	—	—	—	1	51
尾道市		—	—	—	—	2	14
福山市		—	—	—	—	1	13
府中市		—	—	—	—	—	—
三次市		—	—	—	—	—	—
庄原市		—	—	—	—	2	84
大竹市		—	—	—	—	—	—
東広島市		1	5	—	—	6	578
廿日市市		2	16	—	—	1	60
安芸高田市		—	—	—	—	3	181
江田島市		1	7	—	—	—	—
府中町		—	—	—	—	1	110
海田町		—	—	—	—	—	—
熊野町		—	—	—	—	3	47
坂町		—	—	1	13	1	30
安芸太田町		—	—	—	—	1	25
北広島町		—	—	—	—	—	—
大崎上島町		—	—	—	—	—	—
世羅町		—	—	—	—	—	—
神石高原町		—	—	—	—	—	—
県外		—	—	—	—	—	—
合計		5	33	1	13	81	5,136

イ 指導員研修会等

水上安全法指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会を実施しました。

■指導員研修会実施状況（水上安全法）

場所	日程	受講者（人）
佐伯区スポーツセンター	2月7日、2月8日	27

■指導員登録状況（水上安全法）

ボランティア指導員（人）	職員指導員（人）	合計（人）
41	4	45

（3）健康生活支援講習

ア 一般普及講習・短期講習

高齢者を健やかに事故なく過ごすために必要な知識・技術、高齢者自立支援に必要な介護技術等を普及することを目的とした講習を支部、地域等で実施しました。

また、避難所における不自由な生活から高齢者を守るために知っておきたい知識や支援技術について学ぶ災害時高齢者生活支援講習を実施しました。

■講習実施状況（健康生活支援講習）

名称	回数	受講者（人）	修了者（人）	認定者（人）
支援員養成講習	3	21	10	10
災害時高齢者生活支援講習	12	573	—	—
短期講習	20	546	—	—
合計	35	1,140	10	10



毛布を活用したガウンの実演



ベッド上での体位変換

■地域別講習実施状況（健康生活支援講習）

市区町名		支援員養成講習		災害時高齢者生活支援講習		短期講習（災害時以外）	
		回数	受講者（人）	回数	受講者（人）	回数	受講者（人）
広島市	中区	2	18	1	6	4	44
	東区	—	—	—	—	—	—
	南区	—	—	—	—	—	—
	西区	—	—	—	—	—	—
	安佐南区	—	—	—	—	1	8
	安佐北区	—	—	—	—	1	50
	安芸区	—	—	—	—	1	35
	佐伯区	—	—	—	—	—	—
小計		2	18	1	6	7	137
呉市		—	—	6	401	3	100
竹原市		—	—	—	—	—	—
三原市		1	3	—	—	—	—
尾道市		—	—	—	—	3	147
福山市		—	—	—	—	—	—
府中市		—	—	—	—	—	—
三次市		—	—	—	—	—	—
庄原市		—	—	2	102	3	29
大竹市		—	—	—	—	—	—
東広島市		—	—	—	—	1	60
廿日市市		—	—	—	—	1	21
安芸高田市		—	—	—	—	—	—
江田島市		—	—	1	20	—	—
府中町		—	—	—	—	—	—
海田町		—	—	1	34	—	—
熊野町		—	—	—	—	1	17
坂町		—	—	1	10	—	—
安芸太田町		—	—	—	—	—	—
北広島町		—	—	—	—	—	—
大崎上島町		—	—	—	—	—	—
世羅町		—	—	—	—	—	—
神石高原町		—	—	—	—	1	35
県外		—	—	—	—	—	—
合計		3	21	12	573	20	546

イ 指導員研修会等

健康生活支援講習指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会を実施しました。

■指導員研修会実施状況（健康生活支援講習）

場所	日程	受講者（人）
広島県支部	1月25日	28

■指導員登録状況（健康生活支援講習）

ボランティア指導員（人）	職員指導員（人）	合計（人）
22	26	48

（4）幼児安全法

ア 一般普及講習・短期講習

子どもが家庭や地域で健やかに育っていくよう、子どもの成長・発達に伴う事故の予防と急病の対応及び万一に備えての救命・応急手当の知識や技術を普及することを目的とした講習を支部、地域や職場、保育所等で実施しました。

■講習実施状況（幼児安全法）

名称	回数	受講者（人）	認定者（人）
支援員養成講習	4	62	57
短期講習	194	5,509	—
合計	198	5,571	57



背部叩打法による気道異物除去



乳幼児に対する心肺蘇生

■地域別講習実施状況（幼児安全法）

市区町名		支援員養成講習		短期講習	
		回数	受講者（人）	回数	受講者（人）
広島市	中区	2	33	27	833
	東区	—	—	16	524
	南区	—	—	9	467
	西区	—	—	11	362
	安佐南区	1	26	26	615
	安佐北区	—	—	12	273
	安芸区	—	—	6	160
	佐伯区	—	—	12	516
小計		3	59	119	3,750
呉市		—	—	6	162
竹原市		—	—	1	5
三原市		—	—	18	231
尾道市		—	—	8	118
福山市		—	—	24	912
府中市		—	—	—	—
三次市		—	—	1	27
庄原市		1	3	3	52
大竹市		—	—	—	—
東広島市		—	—	6	96
廿日市市		—	—	2	41
安芸高田市		—	—	1	19
江田島市		—	—	—	—
府中町		—	—	—	—
海田町		—	—	—	—
熊野町		—	—	3	75
坂町		—	—	—	—
安芸太田町		—	—	—	—
北広島町		—	—	—	—
大崎上島町		—	—	—	—
世羅町		—	—	1	8
神石高原町		—	—	1	13
県外		—	—	—	—
合計		4	62	194	5,509

イ 指導員養成講習

幼児安全法講習普及計画に基づき、赤十字の使命を理解し、十分な知識と技術を持った指導力のある実働的な指導員の養成を図ることを目的として実施しました。

■指導員養成講習実施状況（幼児安全法）

場所	日程	受講者（人）	合格者（人）
広島県支部	11月 2日、3日、15日、16日、17日	9	8

ウ 指導員研修会等

幼児安全法指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行状況に鑑み、感染拡大防止の観点から中止となりました。

■指導員研修会実施状況（幼児安全法）

場所	日程	受講者（人）
広島県支部	3月14日	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止

■指導員登録状況（幼児安全法）

ボランティア指導員（人）	職員指導員（人）	合計（人）
41	37	78

3 赤十字ボランティア

赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神に基づき、明るく住みよい社会を築き上げていくために様々なボランティア活動を展開しています。

この赤十字奉仕団は、「地域赤十字奉仕団」「青年赤十字奉仕団」「特殊赤十字奉仕団」の3つに分類され、県内に合わせて35団体組織されています。

また、各種奉仕団の連携強化や活動の充実を図るため、委員会や研修会等を実施しています。

■委員会・研修会等実施状況

名称	日程	場所	参加者(人)
赤十字防災ボランティアリーダー・サブリーダー会議	5月19日	広島県支部	7
第1回広島県赤十字奉仕団支部委員会	6月10日		6
第1回広島県赤十字奉仕団委員長会議			27
赤十字ボランティア基礎研修会	6月23日		44
赤十字ボランティアリーダー研修会	8月10日～11日		8
第2回広島県赤十字奉仕団支部委員会	11月19日		5
第2回広島県赤十字奉仕団委員長会議			24
赤十字奉仕団委員長交流研修会	2月18日～19日		21

(1) 地域赤十字奉仕団

地域赤十字奉仕団は、各地域における赤十字事業を第一線で支えるボランティア組織として、主に市町単位に組織され、活動資金募集活動や赤十字思想の普及活動に取り組むほか、高齢者支援活動（給食サービス・友愛訪問等）、社会福祉施設の訪問や地域福祉活動等のそれぞれの地域のニーズに応じた活動を展開しました。



防災訓練での炊き出し（呉市赤十字奉仕団）



収穫したみかんを被災地へ
（瀬戸田町さくら赤十字奉仕団）

■地域赤十字奉仕団一覧

名称	結成年度	団員(人)
呉市赤十字奉仕団	昭和 26 年度	1,092
竹原市女性連絡協議会赤十字奉仕団	昭和 33 年度	1,207
広島市女性赤十字奉仕団	昭和 35 年度	7,000
坂町赤十字奉仕団	昭和 63 年度	55
神辺町赤十字奉仕団	平成 元年度	50
江田島市赤十字奉仕団	平成 元年度	243
安芸津町女性赤十字奉仕団	平成 2 年度	69
木江赤十字奉仕団	平成 2 年度	36
尾道市赤十字奉仕団	平成 5 年度	36
三原市赤十字奉仕団	平成 5 年度	23
東広島市赤十字奉仕団	平成 5 年度	23
三和町赤十字奉仕団	平成 6 年度	44
福山市赤十字奉仕団	平成 9 年度	47
本郷町赤十字奉仕団	平成 9 年度	147
因島やすらぎ赤十字奉仕団	平成 10 年度	30
向島町はなみずき赤十字奉仕団	平成 12 年度	15
庄原市赤十字奉仕団	平成 17 年度	122
尾道市瀬戸田町さくら赤十字奉仕団	平成 20 年度	23
世羅町赤十字奉仕団	平成 20 年度	30
海田町おもちゃの病院赤十字奉仕団	平成 20 年度	19
府中町災害ボランティア赤十字奉仕団	平成 22 年度	22
府中市赤十字奉仕団	平成 24 年度	20
はつかいちし災害救援ボランティアネットワーク赤十字奉仕団	平成 26 年度	25
熊野町女性会赤十字奉仕団	平成 26 年度	24
合計	24 団	10,522

■委員会等参加状況

名称	日程	場所	参加者(人)
赤十字奉仕団中央委員会	5月30日～31日	東京都	1

(2) 青年赤十字奉仕団

青年赤十字奉仕団は、県内の大学・短期大学等の学生や社会人によって組織されており、社会福祉施設への定期訪問や若年層を中心にした献血推進活動、義援金募集活動等に取り組みました。



青年赤十字奉仕団によるメディア出演



広島県青年赤十字奉仕団ボランティア研修会

■ 青年赤十字奉仕団一覧

名称	結成年度	団員(人)
山陽女子短期大学赤十字ボランティアサークル	昭和 62 年度	70
世羅地区夢工房四季青年赤十字奉仕団	昭和 62 年度	11
広島県青年赤十字奉仕団	平成 10 年度	44
日本赤十字広島看護大学学生赤十字奉仕団	平成 18 年度	20
安田女子大学赤十字奉仕団	平成 28 年度	15
合計	5 団	160

■ 協議会・研修会等参加状況

名称	日程	場所	参加者(人)
第 5 ブロック 青年赤十字奉仕団連絡協議会	6 月 1 日 ~ 2 日	愛媛県	2
広島青年赤十字奉仕団新入団員研修会	6 月 9 日	広島県支部	26
広島県青年赤十字奉仕団ボランティア研修会	10 月 13 日		14

(3) 特殊赤十字奉仕団

アマチュア無線やバイク等専門的な技術や資格を有する特殊赤十字奉仕団は、その特性を活かした災害救護活動や赤十字病院内でのボランティア活動、青少年赤十字の支援、防災活動等を行いました。

また、5月には被災者の健康・維持・向上を目指す「健康・栄養赤十字奉仕団」が結成され、仮設住宅で炊き出しや栄養相談・健康教室などを行いました。



新奉仕団への団旗授与（健康・栄養赤十字奉仕団）



安全赤十字奉仕団による救急法講習

■特殊赤十字奉仕団一覧

名称	結成年度	団員(人)
すみれ会赤十字奉仕団	昭和 51 年度	16
広島県安全赤十字奉仕団	昭和 57 年度	94
広島県アマチュア無線赤十字奉仕団	平成 3 年度	96
広島レスキューサポートバイク赤十字奉仕団	平成 10 年度	25
広島県青少年赤十字賛助奉仕団	平成 14 年度	30
健康・栄養赤十字奉仕団	令和元年度	27
合計	6 団	288

■協議会・研修会等参加状況

名称	日程	場所	参加者(人)
青少年赤十字全国賛助奉仕団総会	7 月 9 日 ～ 10 日	東京都	1
赤十字ボランティアリーダー研修会	8 月 24 日 ～ 26 日	東京都	1
中四国ブロック青少年赤十字賛助奉仕団協議会・研修会	10 月 10 日 ～ 11 日	徳島県	4
中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	11 月 14 日 ～ 15 日	島根県	1

4 青少年赤十字

青少年赤十字は、赤十字の基本理念である「人道」に基づき、「やさしさ」や「思いやり」を行動に移せる青少年の育成を、学校教育の中で実践することを目的とし、3つの実践目標と3つの態度目標を掲げています。

● 3つの実践目標

- 『健康・安全』 生命と健康を大事にする。
- 『奉仕』 人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し実行する。
- 『国際理解・親善』 広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う。

● 3つの態度目標

- 『気づき』 注意深い生活を心がけ、自ら課題に気づく。
- 『考え』 原因や問題解決の道筋を考える。
- 『実行する』 解決のために実行する。

(1) 青少年赤十字加盟校

県内 293 の学校・園が青少年赤十字に加盟しており、研修会やリーダーシップ・トレーニング・センターへの参加等、様々な活動を行っています。

■ 青少年赤十字加盟状況

区分	加盟校 (校)	メンバー (人)
幼稚園・保育所	36	4,891
小学校	122	45,905
中学校	89	28,596
高等学校	41	10,448
特別支援学校	5	672
合計	293	90,512



安芸太田町立上殿小学校による「やまゆり訪問」



青少年赤十字広島県リーダーシップ・トレーニング・センター

(2) 青少年赤十字研修会・講習会等

青少年赤十字加盟校の指導者（教員）を対象とした研修会の開催や本社主催の研究会及び会議への派遣等を行いました。

また、指導者協議会や各教育委員会と連携を図りながら、各加盟校において指導者が活動しやすい環境づくりに努めました。

■研修会・講習会等参加状況

名称	日程	場所	参加者 (人)
青少年赤十字リーダーシップ・ トレーニング・センター指導者養成講習会	5月24日～26日	東京都	1
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	6月24日～25日	東京都	1
青少年赤十字広島県指導者研修会	7月6日～7日	広島県支部	11
第5ブロック青少年赤十字指導者協議会並び に青少年赤十字事務担当者会議	10月17日～18日	愛媛県	1
青少年赤十字指導者中央講習会	11月23日	東京都	1
青少年赤十字指導主事対象研究会	1月9日	東京都	1

(3) 青少年赤十字広島県リーダーシップ・トレーニング・センター等

ア 青少年赤十字広島県リーダーシップ・トレーニング・センター

県内の児童・生徒を対象とし、赤十字や青少年赤十字に関する知識や赤十字救急法等の技術を学びながら、集団生活の中でリーダーとして必要な自主・自立の精神を身につけます。

名称	日程	場所	参加者(人)	指導者(人)
青少年赤十字広島県リーダーシ ップ・トレーニング・センター	8月20日～22日	府中町	小学生 22	11
	8月17日～19日		中学生 26	16
	8月20日～22日		高校生 31	8



中学生によるフィールドワーク



高校生による災害エスノグラフィー演習

イ 青少年赤十字スタディ・センター

※新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、中止となりました。

(4) 日本・韓国青少年赤十字相互交流事業

大韓赤十字社忠南支社との間で、国際理解・親善の具体的な実践の場として、交流を通じ互いの生活習慣や歴史文化を学びながら相互理解、友情、協力を深めています。

ア 派遣

7月28日から8月2日にかけて、県内青少年赤十字メンバー10名が大韓赤十字社施設、博物館・歴史的建造物の訪問や異文化体験など、様々な活動を行いました。

イ 受入

1月12日から1月17日にかけて、忠南支社の青少年赤十字メンバー5名が広島県内の赤十字施設や平和記念公園の見学、異文化体験、青少年赤十字加盟校生徒との交流を行いました。

日程	中・高校生参加者(人)	指導者(人)
派遣：7月28日～8月2日	日本：10 韓国：9	日本：2 韓国：2
受入：1月12日～1月17日	日本：41 韓国：5	日本：7 韓国：2



慶北宮にて民族衣装を着ての異文化体験（派遣）



広島平和記念公園の見学（受入）

(5) 青少年赤十字広島県大会

青少年赤十字加盟校の相互交流とメンバーの親善を深めるとともに、青少年赤十字活動の充実・発展を図ることを目的として広島県大会を実施しました。中学校・高等学校の各校による活動発表や分科会が行われました。

名称	日程	場所	参加者（人）
青少年赤十字広島県大会	10月26日	広島市	166



永年加盟表彰状の授与



各校による活動発表



分科会(中学校/グループワーク)



分科会(高等学校/救急法競技大会)

(6) 広島県青少年赤十字研究会

青少年赤十字加盟校の指導者を対象に、学校教育における青少年赤十字の現状と成果を理解し、今後の青少年赤十字活動の普及及び活性化を図ることを目的に研究会を開催しました。

また、青少年赤十字研究推進校の活動報告、国際人道法と青少年赤十字の意義についての特別講演を行いました。

名称	日程	場所	参加者（人）
広島県青少年赤十字研究会	2月14日	広島県支部	54



研究推進校活動報告：川口 昌子 先生
(呉市立仁方中学校)



特別講演：井上 忠男 先生
(日本赤十字国際人道研究センター所長)

(7) 青少年赤十字活動資金（通称：1円玉募金）

青少年赤十字メンバーは、青少年赤十字の実践目標のひとつ「国際理解・親善」の一環として、集めた1円玉募金により、世界で苦しんでいる同世代の子供たちの支援等を行っています。

令和元年度は、県内2園が集めた1円玉募金を受け付けました。

受け付けたお金は3カ年計画（令和元年度まで）で、ネパール連邦民主共和国とバヌアツ共和国に送られ、世界の子供たちの衛生教育や衛生環境改善、防災教育の普及に役立てられます。

■ 1円玉募金受付状況

件数 (件)	金額 (円)
2	897



くまの中央保育園の園児たち



初神保育園の園児たち

5 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として、世界 192 の国と地域の赤十字・赤新月社やジュネーブにある赤十字の国際機関とともに、緊急救援・復興支援や開発協力等を実施しています。

(1) 国際救援・開発協力要員の登録状況

日本赤十字社では、海外で発生した災害や保健衛生事業に従事するための要員を「国際救援・開発協力要員」として常時登録しています。

■ 県内登録状況

施設名	医師 (人)	看護師(人)	薬剤師(人)	事務(人)	合計(人)
広島赤十字・原爆病院	2	1	1	2	6
三原赤十字病院	-	-	-	1	1
合計	2	1	1	3	7

(2) 東ティモール赤十字社への救急法等普及支援事業

10月19日から27日にかけて、東ティモール赤十字社への救急法等普及支援事業のため、支部職員1名を東ティモール民主共和国に派遣し、同赤十字社が開催する現地指導員対象の救急法指導員研修会にて心肺蘇生などの指導方法や講習の普及方法について助言しました。



心肺蘇生のトレーニングを行う現地指導員



デモンストレーションを行う日赤職員

(3) フィリピン保健医療支援事業

平成17年度から、フィリピン共和国内における保健・医療インフラが脆弱な地域において、住民参加型の健康活動を通じて健康管理能力を強化・改善するため、日本赤十字社とフィリピン赤十字社が協力し、保健医療支援事業を実施してきました。今回その支援事業終了に伴い、これまでの成果を確認するため、11月17日から23日にかけて、支部職員1名を派遣しました。



衛生環境を調査する現地赤十字職員



国際活動資金により整備された救急キット

(4) アジア大洋州給水・衛生キット支援事業

平成 22 年度から、中国・四国ブロック各県支部合同で、アジア・大洋州における洪水やサイクロンの災害多発地域等において迅速に給水・衛生活動が展開できるキットの整備や現地スタッフ等に対する研修を支援しています。支部は事業費として 988,065 円を拠出しました。

また、12 月 8 日から 12 月 15 日にかけて、この事業を視察するため、支援国の 1 つであるカンボジア王国に支部職員 1 名を派遣しました。



給水キットを組み立てる現地スタッフ



給水キットのデモンストレーション

(5) 海外救援金

海外で突発的に発生した大規模災害や紛争発生時に募集する救援金を受け付けました。集められた救援金は被災国の赤十字社が行う被災者支援に役立てられます。

■海外救援金受付状況（令和元年度広島県支部受付分）

名称	受付期間	件数（件）	金額（円）
中東人道危機救援金	4 月 1 日～3 月 31 日	8	78,055
バングラデシュ南部避難民救援金	4 月 1 日～3 月 31 日	6	74,312
2019 年モザンビークサイクロン救援金	4 月 1 日～6 月 30 日	3	17,002

(6) 「NHK海外たすけあい」(第37回)キャンペーン

「NHK海外たすけあい」キャンペーンは世界各地の紛争や自然災害、病気などに苦しむ人々を救うために、日本赤十字社が昭和58年から毎年12月にNHKと共同で実施しています。

支部では、チャリティイベントとして支援バザーを開催し、その売り上げを寄付金としたほか、協賛企業による街頭募金を実施しました。

■受付状況

名称	受付期間	件数(件)	金額(円)
NHK海外たすけあいキャンペーン	12月1日～25日	2,550	18,222,122



手作りの募金箱を持参する園児



青少年赤十字メンバーによる支援バザー



青少年赤十字メンバーによる街頭募金

6 赤十字思想の普及

赤十字の理念や活動について県民の理解を深めるため、5月の赤十字運動月間でのフラワーフェスティバルへの参加や将来を担う子供たちへの青少年赤十字PR活動、また年間を通じ、リーフレット等を配布し、赤十字思想の普及に努めています。

(1) イベント

ア 2019 ひろしまフラワーフェスティバル

- ・日 程 5月3日～5日
- ・内 容 パレード(5月3日)
赤十字ひろば(5月3日～5日)
- ・場 所 広島市中区(平和大通り、平和公園内「平和の塔」横)
- ・来場者 3日間延べ約170万3,000人



平和大通りでのパレード

イ レッドライトアッププロジェクト2019

- ・日 程 5月8日～14日
- ・内 容 5月8日の世界赤十字デーに合わせ、建物を赤くライトアップ
- ・場 所 広島市南区(エールエールA館)



赤くライトアップされたエールエールA館

ウ 第30回ジュノー記念祭

- ・日 程 6月16日
- ・内 容 被爆直後、15トンもの医薬品を届けたマルセル・ジュノー博士の偉業を称え、とともに人道的行為に感謝する。
- ・場 所 広島市中区(平和記念資料館東館)



府中緑ヶ丘中学校吹奏楽部による合唱

エ 核兵器廃絶に向けたユースアクションフォーラム

- ・日 程 7月1日～3日
- ・内 容 核兵器禁止条約採択から2年、国際赤十字・赤新月社連盟創立100周年を迎え、世界12カ国の若者が集結し、核兵器廃絶について議論を交わした。
- ・場 所 広島市中区(広島平和記念公園ほか)



ユースアクションフォーラムの参加者

オ 赤十字フェスタ in ひろしま 2019

- ・日 程 9月14日
- ・内 容 救急法ミニ講習、炊き出しグルメフェスタ、健康・栄養相談、血液センター見学、献血実施、災害救援車両乗車体験、協賛団体出店（ハンドケア、ネイルアート、バルーンアート、歯の健康相談、お楽しみコーナー）
- ・場 所 広島市中区（広島県赤十字血液センター）
- ・来場者 約740人



奉仕団による炊出しグルメフェスタ

カ 第33回かなべ福祉まつり

- ・日 程 9月22日
- ・内 容 救急法ミニ講習、赤十字ブース展開
- ・場 所 福山市（福山市神辺文化会館）
- ・来場者 約3,500人



救急法のミニ講習

(2) メディア出演

ア FMはつかいち

- ・日 程 5月16日
- ・内 容 「赤十字運動月間」PR

イ 三原テレビ放送

- ・日 程 5月17日
- ・内 容 「赤十字運動月間」PR



三原テレビ放送に出演した支部職員

(3) その他広報

ア 路面電車へのラッピング広告

- ・期 間 通年
- ・内 容 広島電鉄 宮島線
広島駅～広電宮島口駅等



イ テレビ・ラジオCM

- ・期 間 5月の赤十字運動月間
- ・内 容 民放テレビ4局、ラジオ3局



ウ 令和元年度防災・減災プロジェクト

～私たちは、忘れない。～

- ・期 間 3月1日～31日
- ・内 容 日本全国の企業・団体366社、プロジェクトバッジ着用、ポスターの掲示、特設サイト上での広報、バナーの配付。



エ 看板広告（更新）

- ・期 間 通年（3月21日施工）
- ・内 容 広島電鉄 宮島線高須駅構内



7 会員と活動資金

支部の事業は、会員や協力会員の皆さまからの活動資金と、広く寄せられる寄付金や地域の方々をはじめ、地区・分区担当者や赤十字奉仕団員の協力を支えられています。

(1) 会員

「会員」とは、人道を原則とする赤十字の活動に賛同し、毎年 2,000 円以上の資金協力をしていただく方のことです。

また、「協力会員」は、会員以外の者で赤十字の活動に賛同し、目安として毎年 500 円以上の資金協力をしていただく方のことです。

■会員状況

種別	区分	会員数（人・法人）
会 員	個 人	2,768
	法 人	2,142
協力会員	—	336,360
合計		341,270

(2) 活動資金

「活動資金」とは、会員の皆さまからの会費と、協力会員の皆さまから提供された資金や広く寄せられる寄付金のことです。

活動資金は、地区・分区による町内会・自治会を通じたもののほか、クレジットカードや口座振替、募金箱、寄付金付自動販売機やダイレクトメールなどにより募集しています。

また、広島県支部では独自に、継続して活動資金をご支援いただける県内の法人等を「赤十字サポーター」として認定し、CSR や社会貢献活動におけるパートナーシップを確立しています。

※ 赤十字サポーター認定法人数は 82 社、寄付金付自動販売機の設置台数は 93 台。

(令和 2 年 3 月 31 日現在)

■活動資金募集状況

区分	実績額（円）
一 般	351,540,264
法 人	56,717,907
合計	408,258,171

■地域別活動資金募集状況

地区・分区名	一般（円）	法人（円）	合計（円）
広島市	65,631,623	587,000	66,218,623
呉市	27,341,860	110,000	27,451,860
竹原市	4,025,510	0	4,025,510
三原市	9,262,499	24,000	9,286,499
尾道市	17,763,010	0	17,763,010
福山市	23,949,265	55,000	24,004,265
府中市	3,509,190	1,000	3,510,190
三次市	5,124,300	0	5,124,300
庄原市	4,791,886	0	4,791,886
大竹市	3,682,800	0	3,682,800
東広島市	13,577,279	50,000	13,627,279
廿日市市	10,353,846	120,000	10,473,846
安芸高田市	3,962,800	0	3,962,800
江田島市	4,169,000	0	4,169,000
府中町	4,596,820	0	4,596,820
海田町	3,308,600	0	3,308,600
熊野町	4,185,100	0	4,185,100
坂町	1,781,500	0	1,781,500
安芸太田町	1,214,350	1,000	1,215,350
北広島町	2,658,414	0	2,658,414
大崎上島町	1,646,000	0	1,646,000
世羅町	1,993,850	0	1,993,850
神石高原町	1,502,200	0	1,502,200
地区・分区計	220,031,702	948,000	220,979,702
広島県支部計	131,508,562	55,769,907	187,190,469
合計	351,540,264	56,717,907	408,258,171

8 看護師等養成事業

日本赤十字広島看護大学は、赤十字の中国・四国ブロックにおける拠点校として、国内外の保健・医療・福祉の分野をはじめ、災害救護や国際救援、教育・研究現場等様々な場において活躍できる看護師等の養成を行っています。



日本赤十字広島看護大学

(1) 在籍状況

赤十字の人道の理念を基調とした教育と人々の命と権利を尊重することを基本とした「ヒューマンケアリング」の精神のもとに、豊かな人間性と幅広い教養を身につけた人材育成に努めています。

■ 学年別在籍状況

1 学年 (人)	2 学年 (人)	3 学年 (人)	4 学年 (人)	大学院 (人)	合計 (人)
127	166	149	125	32	599

(2) 進路状況

卒業生の多くが、赤十字の医療施設をはじめ、国公立系の医療施設等様々な場所で活躍しています。

■ 学部卒業生進路状況

卒業生 (人)	就職 (人)				進学 (人)	その他 (人)
	赤十字の医療施設	国公立系の医療施設	公的医療施設	その他の病院等		
124	64	27	15	15	1	2



看護演習



授業風景 (災害看護学)

9 血液事業

血液製剤を安定的に確保するため県内3カ所の献血ルーム及び5台の献血バスで献血のご協力をいただきました。

少子高齢化が進むなか、将来にわたり血液を安定的に供給するため、若年層に対する献血への働きかけや愛の血液助け合い運動、はたちの献血キャンペーンなどを実施しました。

(1) 献血実績

200mL 献血 (人)	400mL 献血 (人)	成分献血 (人)	合計 (人)
1,805	75,521	51,036	128,362

(2) 供給実績

200mL 由来 (本)		400mL 由来 (本)		成分由来 (本)		合計 (本)
赤血球製剤	血漿製剤	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	血漿製剤	
1,406	128	69,816	8,151	30,757	4,164	114,422

(3) 献血思想の普及

ア 「愛の血液助け合い運動」

毎年7月の1ヶ月間、厚生労働省・各都道府県及び日本赤十字社が主催して全国一斉に「愛の血液助け合い運動」を実施しています。

この運動の一環として、7月30日に広島県・支部・広島県赤十字血液センターの共催で「令和元年度広島県献血推進功労者等表彰伝達式-献血感謝のつどい」を開催し、35団体と20名の個人を表彰するとともに、県内の中・高等学校から募集した献血推進ポスター361点の中から入選作品16点を表彰しました。



献血推進功労者に対して感謝状を贈呈



第20回広島県献血推進ポスター最優秀賞
呉市立呉高等学校 片岡 璃菜さんの作品

イ 「はたちの献血」 キャンペーン

1月1日から2月末日までの2ヶ月間、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心に、広く国民に献血への理解と協力を求めることを目的に「はたちの献血」キャンペーンを実施しました。

10 医療事業

県内には広島赤十字・原爆病院、庄原赤十字病院、三原赤十字病院の3つの赤十字病院があり、いずれも地域の中核病院としての役割を果たしています。

近年、医療事業においては医療費削減や医師不足等、取り巻く環境は非常に厳しい状況となっていますが、各病院は地域の特性に応じたサービスの提供と良質な医療の提供に重点をおいた事業を展開しています。

(1) 広島赤十字・原爆病院

広島赤十字・原爆病院では、緩和ケア病棟（19床）を開設することで平成25年から行っていた病院再整備事業の全工事を終わりました。

そのほか、低侵襲手術支援ロボット da VinciXを導入し、最先端の医療提供体制を整えました。



広島赤十字・原爆病院

診療科目 (31科)	内科、肝臓内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・代謝内科、脳神経内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、精神科、外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、緩和ケア内科、歯科口腔外科、病理診断科
---------------	--

病床数（床）		職員（人）				入院患者（人）		外来患者（人）	
許可	実働	医師	看護要員	その他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
565	557	158	653	396	1,207	191,980	524.5	340,322	1,406.3

(2) 庄原赤十字病院

庄原赤十字病院は、昨年度に引き続き産婦人科の常勤医師を確保するとともに、糖尿病・腎臓病センターを開設し、備北圏域の地域医療を支える診療体制を拡充しました。



庄原赤十字病院

診療科目 (19科)	内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、脳神経外科、小児科、外科、透析外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、神経内科
---------------	--

病床数 (床)		職員 (人)				入院患者 (人)		外来患者 (人)	
許可	実働	医師	看護要員	その他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
300	298	40	257	123	420	91,367	249.6	126,647	521.2

(3) 三原赤十字病院

三原赤十字病院は、地域の医療ニーズに応えることのできるよう地域包括ケア病床を45床増床し、訪問診療・訪問看護等の在宅医療を推進することにより、地域に密着した医療の提供を行いました。



三原赤十字病院

診療科目 (19科)	内科、呼吸器内科、肝臓内科、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リウマチ科、リハビリテーション科、緩和ケア外科
---------------	---

病床数 (床)		職員 (人)				入院患者 (人)		外来患者 (人)	
許可	実働	医師	看護要員	その他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
226	226	27	179	84	290	56,963	155.6	83,371	315.8

Ⅲ 決算状況

1 一般会計

(1) 日本赤十字社広島県支部

■歳入

支部収入	予算額 (円)	決算額 (円)
社資収入	387,414,000	408,258,171
委託金等収入	0	4,304,745
補助金及び交付金収入	2,190,000	3,151,984
災害等義援金預り金収入	125,067,000	125,066,190
繰入金収入	132,626,000	132,784,983
資産収入	25,099,000	25,086,400
雑収入	15,053,000	12,556,594
前年度繰入金	57,228,000	59,570,447
合計	744,677,000	770,779,514

■歳出

支部費	予算額 (円)	決算額 (円)
災害救護事業費	271,218,000	259,875,965
社会活動費	85,140,000	68,888,159
国際活動費	2,841,000	2,098,705
指定事業地方振興費	3,088,000	3,088,000
地区分区交付金支出	54,471,000	35,687,605
社業振興費	67,293,000	49,438,885
基盤整備交付金補助金支出	2,600,000	2,600,000
積立金支出	72,944,000	72,318,766
総務管理費	81,752,000	71,465,585
資産取得及び資産管理費	42,224,000	42,221,135
本社送納金支出	58,226,000	58,225,525
予備費	2,880,000	—
合計	744,677,000	665,908,330

2 医療施設特別会計

(1) 広島赤十字・原爆病院

■収益の収入

病院収益	予算額 (円)	決算額 (円)
医業収益	21,876,661,000	21,549,500,906
医業外収益	380,475,000	346,608,234
医療社会事業収益	0	509,000
付帯事業収益	94,893,000	80,038,626
特別利益	—	30,179
合計	22,352,029,000	21,976,686,945

■収益の支出

病院費用	予算額 (円)	決算額 (円)
医業費用	22,404,320,000	21,899,349,260
医業外費用	160,571,000	155,974,881
医療奉仕費用	124,209,000	113,250,947
付帯事業費用	146,357,571	146,357,571
特別損失	63,037,000	25,136,816
法人税等	10,230,429	10,230,402
予備費	—	—
合計	22,908,725,000	22,350,299,877

■資本的収入

病院収入	予算額 (円)	決算額 (円)
固定負債	188,427,000	183,948,528
資産売却収入	—	—
その他資本収入	1,250,891,000	1,218,075,690
合計	1,439,318,000	1,402,024,218

■資本的支出

病院費	予算額 (円)	決算額 (円)
固定資産	556,588,000	519,294,968
借入金等償還	882,730,000	882,729,250
合計	1,439,318,000	1,402,024,218

(2) 庄原赤十字病院

■収益の収入

病院収益	予算額 (円)	決算額 (円)
医業収益	5,771,841,000	5,779,701,612
医業外収益	356,226,000	354,808,038
医療社会事業収益	—	—
付帯事業収益	19,980,000	24,203,395
特別利益	—	96,010
合計	6,148,047,000	6,158,809,055

■収益の支出

病院費用	予算額 (円)	決算額 (円)
医業費用	6,212,195,000	6,081,057,138
医業外費用	13,945,000	5,652,184
医療奉仕費用	120,865,000	115,058,691
付帯事業費用	32,580,000	31,482,192
特別損失	2,969,000	1,468,050
法人税等	3,118,000	3,117,913
予備費	—	—
合計	6,385,672,000	6,237,836,168

■資本的収入

病院収入	予算額 (円)	決算額 (円)
固定負債	57,788,000	57,788,000
資産売却収入	—	—
その他資本収入	428,871,000	396,927,830
合計	486,659,000	454,715,830

■資本的支出

病院費	予算額 (円)	決算額 (円)
固定資産	129,842,000	108,303,996
借入金等償還	356,817,000	346,411,834
合計	486,659,000	454,715,830

(3) 三原赤十字病院

■収益的收入

病院収益	予算額 (円)	決算額 (円)
医業収益	3,649,789,000	3,198,012,097
医業外収益	65,884,000	69,928,420
医療社会事業収益	1,857,000	2,083,043
付帯事業収益	35,499,000	40,479,551
特別利益	—	3,773,116
合計	3,753,029,000	3,314,276,227

■収益の支出

病院費用	予算額 (円)	決算額 (円)
医業費用	3,782,486,000	3,599,277,954
医業外費用	28,775,000	28,774,493
医療奉仕費用	62,347,000	62,346,219
付帯事業費用	42,898,000	42,897,133
特別損失	21,979,000	21,978,788
法人税等	—	—
予備費	—	—
合計	3,938,485,000	3,755,274,587

■資本的收入

病院収入	予算額 (円)	決算額 (円)
固定負債	143,693,000	143,692,760
資産売却収入	—	—
その他資本収入	484,375,000	484,372,865
合計	628,068,000	628,065,625

■資本的支出

病院費	予算額 (円)	決算額 (円)
固定資産	160,090,000	160,088,440
借入金等償還	467,978,000	467,977,185
合計	628,068,000	628,065,625

IV 県内の赤十字

1 赤十字施設一覧

(令和2年4月1日現在)

施設名	郵便番号	住所	
日本赤十字社広島県支部	730-0052	広島市中区千田町二丁目 5-64 082 (241) 8811	
広島赤十字・原爆病院	730-8619	広島市中区千田町一丁目 9-6 082 (241) 3111	
庄原赤十字病院	727-0013	庄原市西本町二丁目 7-10 0824 (72) 3111	
三原赤十字病院	723-8512	三原市東町二丁目 7-1 0848 (64) 8111	
広島県赤十字血液センター	730-0052	広島市中区千田町二丁目 5-5 082 (241) 1246	
	本通出張所 (献血ルーム「もみじ」)	730-0035	広島市中区本通 6-11 明治安田生命広島本通ビル 1・2F 082 (248) 6034
	紙屋町出張所 (献血ルーム「ピース」)	730-0031	広島市中区紙屋町二丁目 3-20 ソシオスクエア紙屋町 4F 082 (248) 1230
	福山供給出張所	721-0973	福山市南蔵王町四丁目 16-25 084 (932) 5900
日本赤十字社中四国ブロック 血液センター	730-0052	広島市中区千田町二丁目 5-5 082 (241) 1311	
日本赤十字広島看護大学	738-0052	廿日市市阿品台東 1-2 0829 (20) 2800	

2 地区・分区一覧

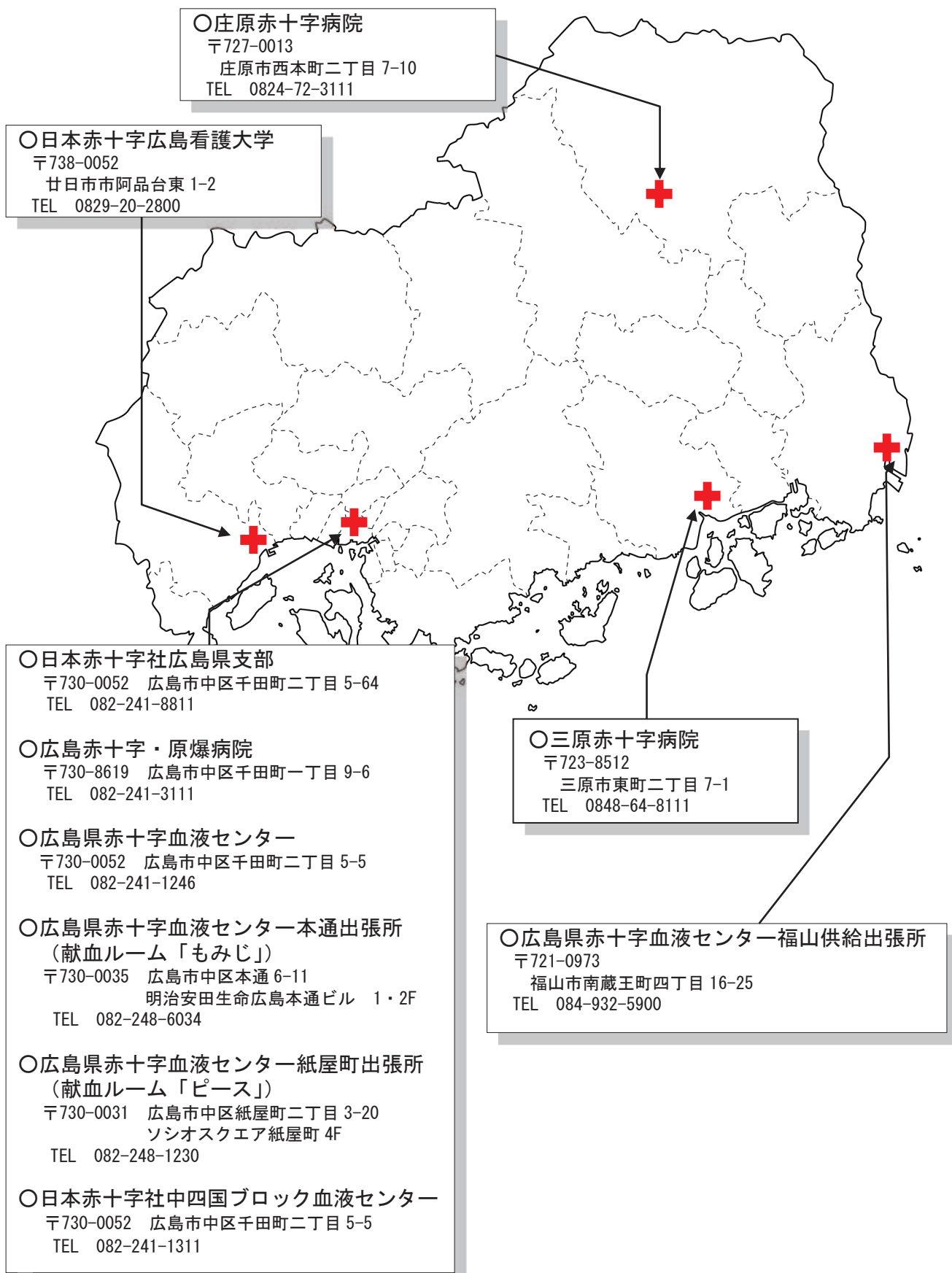
(令和2年4月1日現在)

地区・分区名	郵便番号	住所
広島市地区本部	730-8586	広島市中区国泰寺町一丁目 6-34 広島市健康福祉局地域福祉課内
中区地区	730-8565	広島市中区大手町四丁目 1-1 中区役所生活課
東区地区	732-8510	広島市東区東蟹屋町 9-34 東区役所生活課
温品分区	732-0033	広島市東区温品五丁目 1-18 東区役所温品出張所
南区地区	734-8523	広島市南区皆実町一丁目 4-46 南区役所生活課
似島分区	734-0017	広島市南区似島町字家下 752-74 南区役所似島出張所
西区地区	733-8535	広島市西区福島町二丁目 24-1 西区役所生活課
安佐南区地区	731-0194	広島市安佐南区中須一丁目 38-13 安佐南区役所生活課
安古市分区	731-0194	広島市安佐南区中須一丁目 38-13 安佐南区役所生活課
佐東分区	731-0103	広島市安佐南区緑井六丁目 29-28 安佐南区役所佐東出張所
祇園分区	731-0138	広島市安佐南区祇園二丁目 48-7 安佐南区役所祇園出張所
沼田分区	731-3164	広島市安佐南区伴東七丁目 64-8 安佐南区役所沼田出張所
安佐北区地区	731-0221	広島市安佐北区可部三丁目 19-22 安佐北区役所生活課
可部分区	731-0221	広島市安佐北区可部三丁目 19-22 安佐北区役所生活課
高陽分区	739-1751	広島市安佐北区深川五丁目 13-7 安佐北区役所高陽出張所
白木分区	739-1414	広島市安佐北区白木町秋山 2391-4 安佐北区役所白木出張所
安佐分区	731-1142	広島市安佐北区安佐町大字飯室 3052-1 安佐北区役所安佐出張所

地区・分区名		郵便番号	住所
	安芸区地区	736-8555	広島市安芸区船越南三丁目 2-16 安芸区役所生活課
	船越分区	736-8555	広島市安芸区船越南三丁目 2-16 安芸区役所生活課
	中野分区	739-0321	広島市安芸区中野三丁目 20-9 安芸区役所中野出張所
	矢野分区	736-0083	広島市安芸区矢野東五丁目 7-18 安芸区役所矢野出張所
	阿戸分区	731-4231	広島市安芸区阿戸町 6257-2 安芸区役所阿戸出張所
	佐伯区地区	731-5195	広島市佐伯区海老園一丁目 4-5 佐伯区役所生活課
	湯来分区	738-0601	広島市佐伯区湯来町大字和田 166 佐伯区役所湯来出張所
呉市地区		737-0113	呉市中央四丁目 1-6 呉市役所 2 階 呉市市民部地域協働課
竹原市地区		725-8666	竹原市中央五丁目 1-35 竹原市福祉部社会福祉課
三原市地区		723-0014	三原市城町一丁目 2-1 サン・シーブ ^ラ 4 階 三原市社会福祉協議会
尾道市地区		722-8501	尾道市久保一丁目 15-1 尾道市福祉保健部社会福祉課
福山市地区		720-8512	福山市三吉町南二丁目 11-22 福山市社会福祉協議会
府中市地区		726-0011	府中市広谷町 919-3 府中市社会福祉協議会
三次市地区		728-0013	三次市十日市東三丁目 14-1 三次市社会福祉協議会
庄原市地区		727-0013	庄原市西本町四丁目 5-26 庄原市社会福祉協議会
大竹市地区		739-0692	大竹市小方一丁目 11-1 大竹市健康福祉部地域介護課
東広島市地区		739-8601	東広島市西条栄町 8-29 東広島市健康福祉部社会福祉課
廿日市市地区		738-8512	廿日市市新宮一丁目 13-1 廿日市市社会福祉協議会

地区・分区名		郵便番号	住所
安芸高田市地区		731-0521	安芸高田市吉田町常友 1564-2 安芸高田市社会福祉協議会
江田島市地区		737-2302	江田島市能美町鹿川 2060 江田島市社会福祉協議会
安芸	府中町分区	735-0023	安芸郡府中町浜田本町 5-25 府中町社会福祉協議会
	海田町分区	736-0035	安芸郡海田町日の出町 2-35 海田町社会福祉協議会
	熊野町分区	731-4214	安芸郡熊野町中溝一丁目 11-1 熊野町社会福祉協議会
	坂町分区	731-4312	安芸郡坂町平成ヶ浜一丁目 3-19 坂町社会福祉協議会
山県	安芸太田町分区	731-3702	山県郡安芸太田町大字中筒賀 2802-5 安芸太田町社会福祉協議会
	北広島町分区	731-2104	山県郡北広島町大朝 2513-1 北広島町社会福祉協議会
豊田	大崎上島町分区	725-0401	豊田郡大崎上島町木江 5-9 大崎上島町社会福祉協議会
世羅	世羅町分区	722-1121	世羅郡世羅町大字西上原 426-3 世羅町社会福祉協議会
神石	神石高原町分区	720-1522	神石郡神石高原町小畠 1748 神石高原町社会福祉協議会

県内の赤十字施設





日本赤十字社 広島県支部

Japanese Red Cross Society

〒730-0052 広島市中区千田町二丁目 5-64

TEL 082-241-8811 FAX 082-240-2741

<https://www.hiroshima.jrc.or.jp/>